

雑誌からみた「ネット歌い手」文化の発展

専修大学大学院 法学研究科 法学専攻2年

矢野香蓮

はじめに

本稿は、修士論文『「ネット歌い手」発展過程の一考察～サブカルチャーからメインストリームへ～』で取り組んだ3つの研究から1つを抜粋したものである。ここでは、専門雑誌を用い「歌ってみた」文化の歴史的変遷と特徴に焦点を当てた調査を行っている。筆者は10年間「ネット歌い手」として参与してきた者の一人であり、この経験から得た漠然とした知識を、具体的な検証によって整理することが目的である。

研究手法

調査には、専門雑誌の『歌ってみたの本を作ってみた7冊目』（2012年6月発行）、『歌ってみたの本』2012年11月号～2017年5月号を使用した。当該雑誌の連載「注目の歌い手」に登場する「ネット歌い手」76名の、35項目の特性を調査した。

(1)基本情報5項目、(2)使用メディア7項目、(3)使用ツール5項目、(4)活動経歴8項目、(5)思っていること5項目、(6)視聴者からの評価2項目、(7)その他3項目

調査結果

ここから変化が確認できた項目は、以下の7項目である。

- ① 投稿媒体について、初期の『ネット歌い手』は主にニコニコ動画に投稿していたが、2015年からYouTube、2016年からはnanaなど新しいプラットフォームに言及がみられるようになった。
- ② その他サイトの利用状況について、2012年はアメーバブログを利用する様子が多くみられたが、2013年からまばらになり、2014年にはみられなくなった。
- ③ その他のSNS利用状況について、2012年はmixiの利用者が多くみられたが、2013年から減少し、2014年には見られなくなった。
- ④ その他の活動について、2012年・2013年には、ニコニコ生放送主として「歌ってみた」動画と並行して活動する様子が多く見られたが、2014年以降減少した。
- ⑤ 「ネット歌い手」を始めたきっかけについて、「誰かに誘われた」「憧れ」「興味があった」「別の活動から参入」の4つに分類。2012年は全項目が均等に見られたが、2013年は「誰かに誘われた」「憧れ」が多かった。2014年から2017年は「興味があった」が最多で、特に2015年には「人気になりたい」「もっと聴いてほしい」といった動機が特徴的だった。
- ⑥ その他の希望する活動形態について、2012年はゲーム実況・ニコニコインディーズ、2013年は「踊ってみた」など「ネット歌い手」以外の活動にも興味が示された。これには、ニコニコ生放送との並行活動が影響していると考えられる。

- ⑦ 覆面or顔出しについて、2012年～2013年は覆面派が圧倒的に多かったが、2014年以降は半数以上が顔出しで活動。ただし、SNSでは顔を隠し、ライブのみ顔出しするケースが多かった。

以上のように、2012年から2017年の「ネット歌い手」の特徴については、収録場所や実名・匿名の形式に大きな変化は見られなかった。また、各年代の明確な特徴を整理するには、専門雑誌や他の情報源を活用しつつ時代の流れを分析する必要があると分かった。そこで、筆者は10年間の参与観察や先行研究、関連文献、インタビュー記事をもとに「歌ってみた」文化の特徴を再考した。その結果、技術的環境やネットメディアの利用方法、そしてそれらと「ネット歌い手」の関係性について詳細な理解が得られた。また、「未熟さ」と「職業化」という視点を取り入れることで、今日のメインストリームに至る「歌ってみた」文化の発展過程を立体的に考察できた。

結論

「ネット歌い手」がサブカルチャーからメインストリームに発展する過程で、SNSやスマートフォンの技術革新が重要な役割を果たした。それにより、送り手の大衆化が進み、個々の歌い手が持つビジュアルや世界観が特異性を生み出し、オリジナル楽曲を通じてリスナー層も拡大していった。このような進化の流れが、「ネット歌い手」をメインストリームの一部へ押し上げた結論付けられる。

参考文献

- ・周東美材（2022）、『「未熟さ」の系譜-宝塚からジャニーズまで-』新潮社
- ・宮入恭平、杉山昂平（2021）『「趣味に生きる」の文化論 シリアスレジャーから考える』ナカニシヤ出版
- ・森好正（2012）『歌い手デビューしちゃいなよ☆』KADOKAWA
- ・青柳昌行（2013）『歌い手デビューしちゃいなよ☆2』KADOKAWA
- ・中路靖（2011）『歌ってみたをやってみた！歌い手があなたをエスコートの本』学研
- ・浜村弘一（2010）『歌ってみたの本を作ってみた』、KADOKAWA
- ・浜村弘一（2011）『歌ってみたの本をまた作ってみた』KADOKAWA
- ・浜村弘一（2011）『歌ってみたの本をまたまた作ってみた』KADOKAWA
- ・浜村弘一（2012）『歌ってみたの本の7冊目を作ってみた』KADOKAWA
- ・浜村弘一、青柳昌行（2012-2017）『歌ってみたの本』KADOKAWA